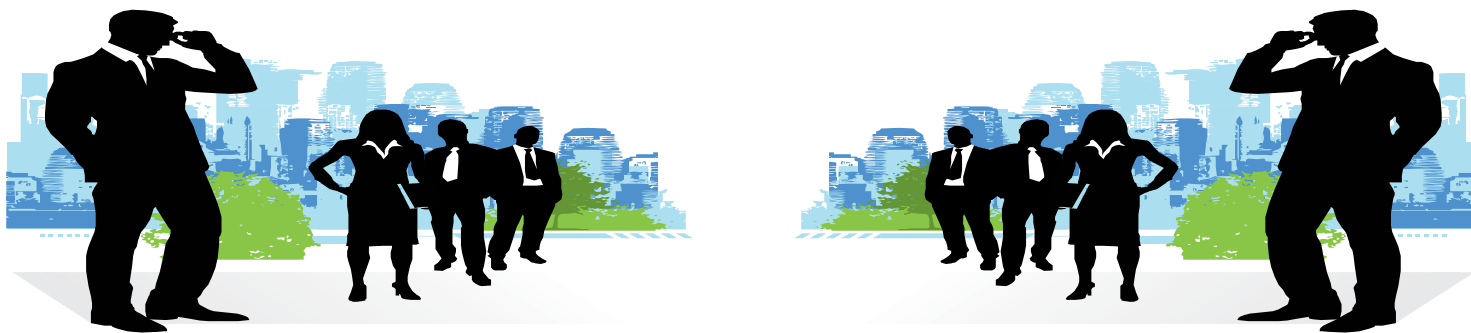
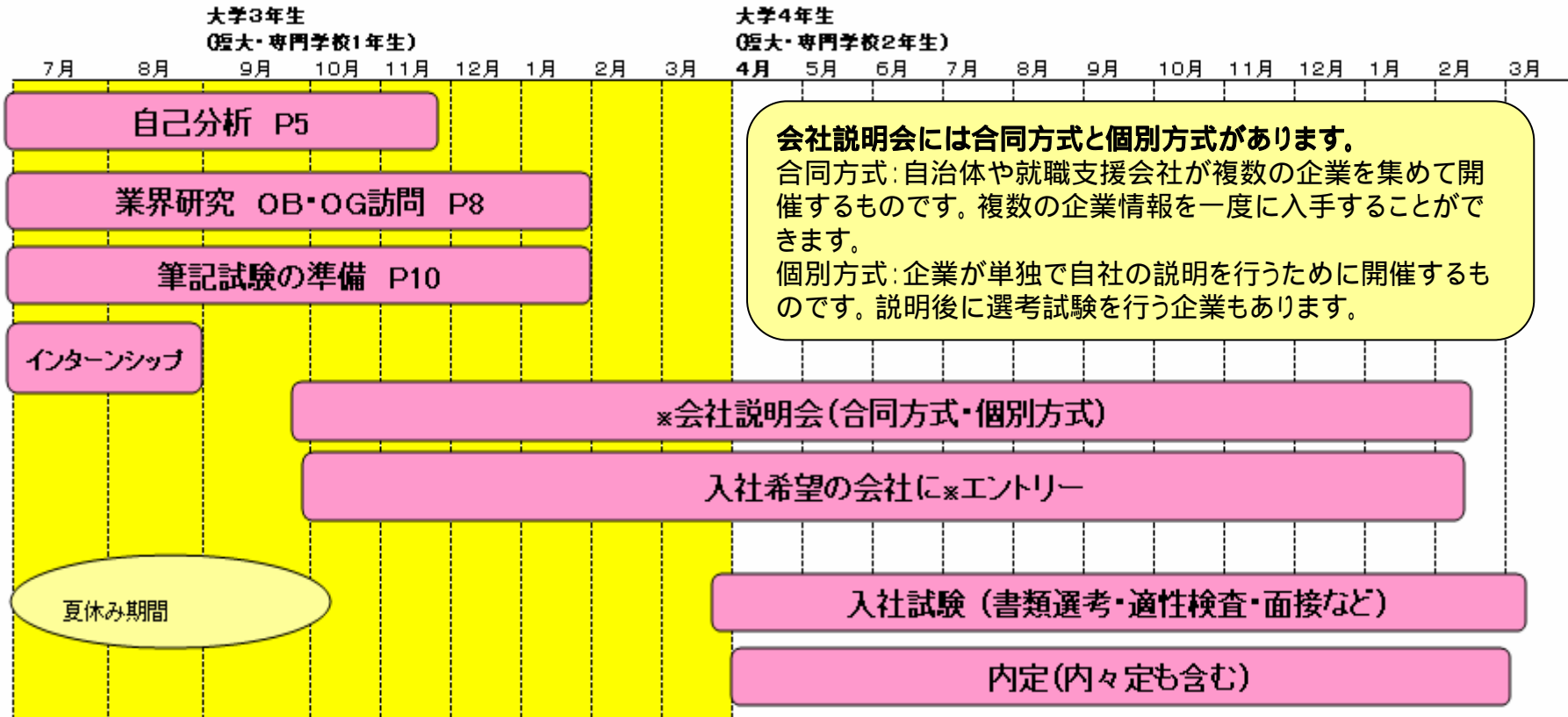


今から知っておきたい就職活動



ふるさと福島就職情報センター

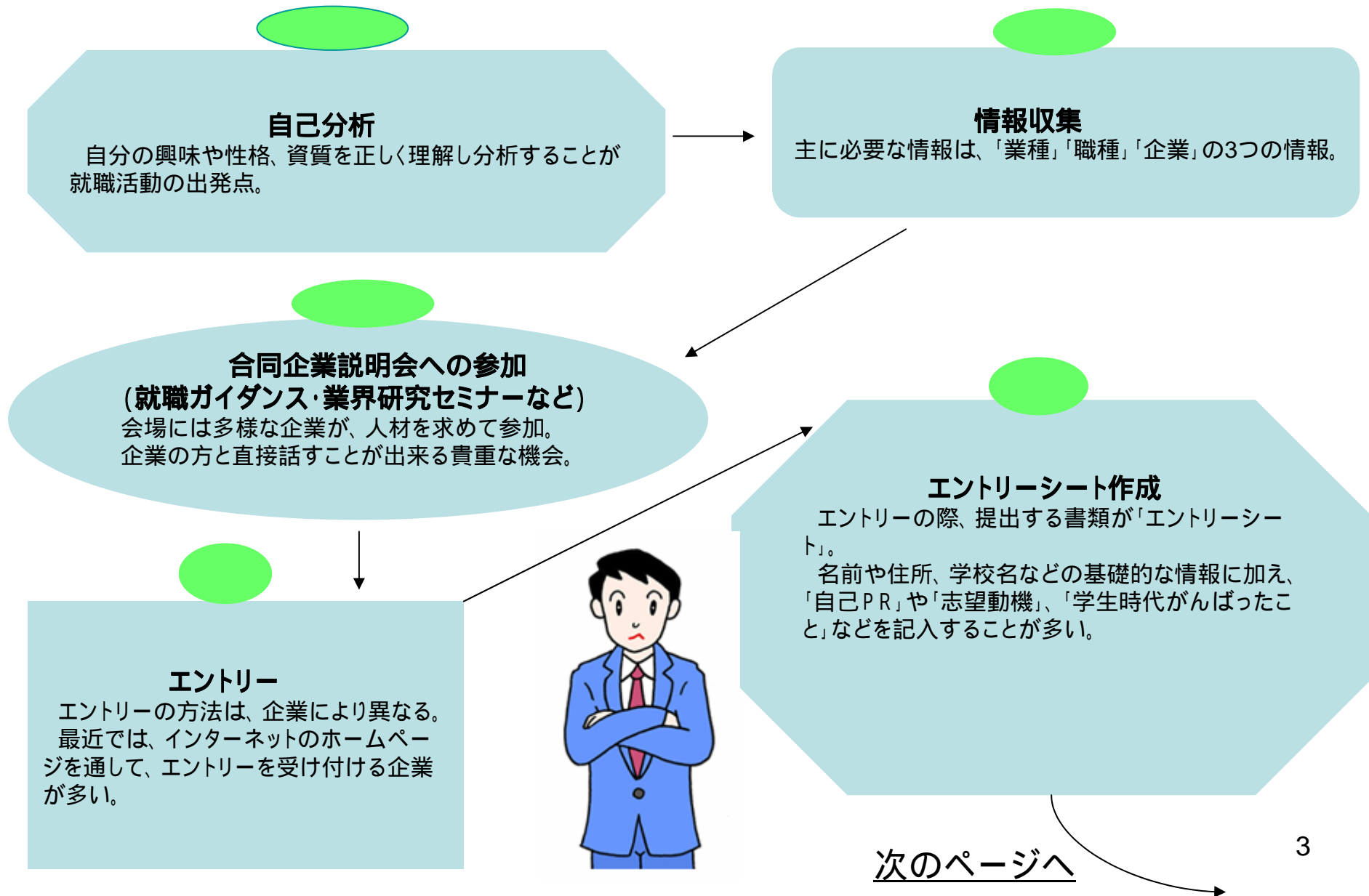
就職活動の大まかな流れ



エントリーとは「あなたの企業に興味がある」という意思表示のことで、
 エントリーは、企業に対する企業・採用情報等の資料請求と、広義では「応募の意思表示」という意味があります。
 企業指定の様式に必要項目を記載して提出することになります。

上記は一般的な流れを示したものであり、企業によってエントリーや会社説明会などの時期、方法が異なることがあります。

就職活動9つのステップ 1/2



就職活動9つのステップ2/2

筆記試験

筆記試験には、一般常識やSPI、またテーマや課題に対して考えを記述するものなどがある。
その他、文章力をみる作文や小論文などもある。
一般的に、面接試験の前に行われる。

個別企業説明会・会社訪問

「個別説明会」では、採用担当者などから、合同企業説明会より詳しい説明が行われる。
説明会のあと、そのまま筆記試験や適性検査など、選考試験が行われる場合もある。



面接

採用試験の中でも、とりわけ重要なのが面接。
ほとんどの企業が、人物を見極めるために重視。

内定(内々定)・就職

今回紹介した就職活動の流れ<9つのステップ>は、あくまでも一般的な傾向です。

就職活動の3つの準備



- 自己分析

自分自身のことは意外とわからないもの。
自分の長所や短所も含め、この機会にじっくり考えてみましょう。
きっと新たな一面が見つかることでしょう。

- 業界（企業）研究

名前を聞いたことがある、というだけで有名企業だけを受けようと考えていませんか？

もっと視野を広げて考えてみる必要があります。

業界や企業研究をして、自分なりに調べてみると知らないことの多さに気づくはずですよ。

自分にあった業界(企業)がどこにあるのか探してみましょう！



- 筆記試験対策

採用は「人物重視型」の企業がほとんどですが、「基礎学力」も、とても大切です。

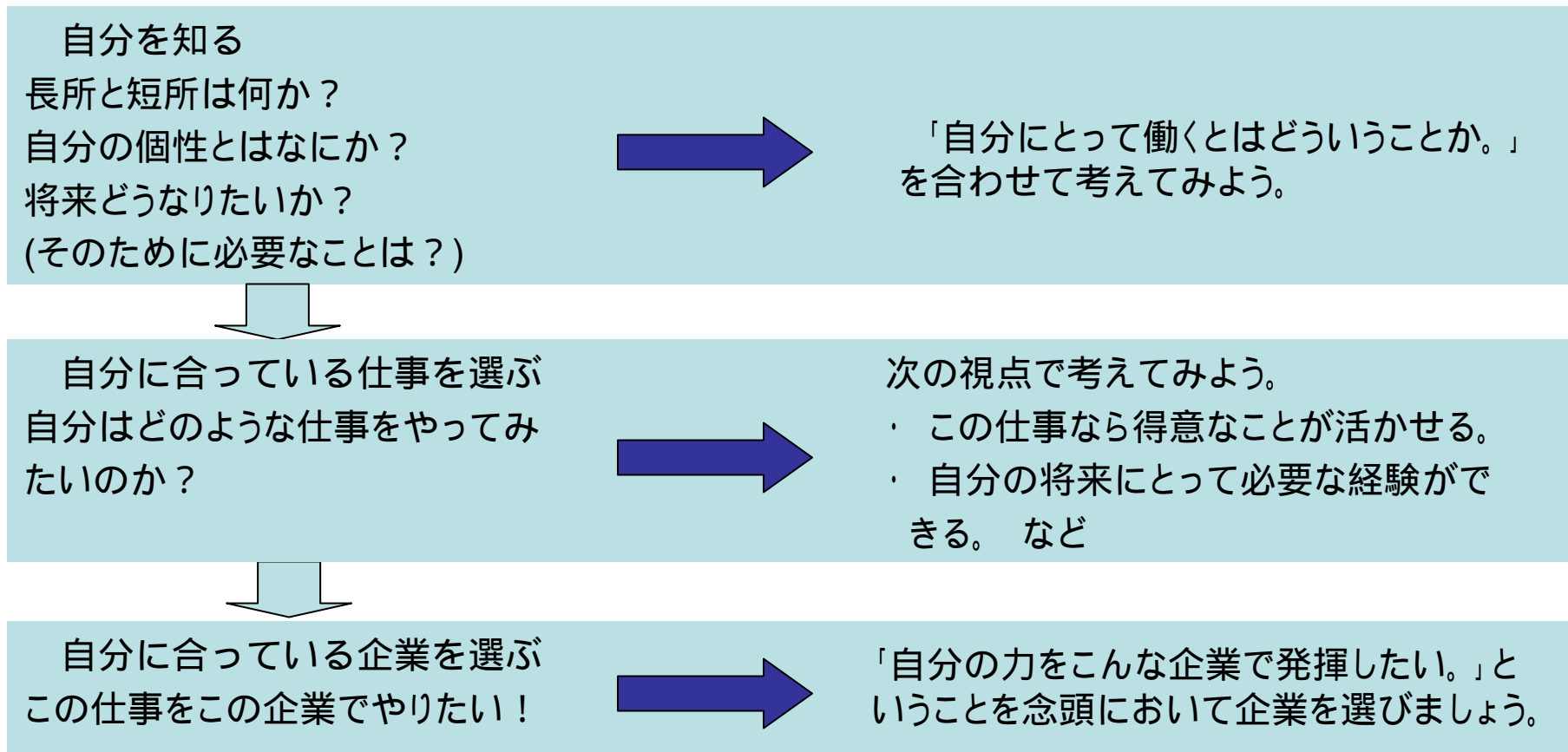
筆記試験が通らなければ面接を受けることが出来ない場合もあります。

筆記試験対策では、新聞に目を通すことも必要です。

自己分析はなぜ必要？

仕事選び・会社選びの為に、欠かせない作業

入社してみて「自分が考えていた仕事と違う。」という結果になっては、せっかく大変な思いをしてがんばった就職活動も無駄になってしまいます。しっかり自己分析をして将来どうなりたいかなど、しっかり考えてみると、自分に合った仕事が見えてきます。また、自己PRのエピソードや志望動機の明確化にも自己分析は欠かせません。



自己分析がうまくできないときは

一人で自己分析をしたものの、よくわからない

- ・ 自分についての客観的な事実をふりかえてみましょう。
- ・ 自分のことは、自分だけではよく見えないもの。周りの人にも聞いてみましょう。自分のことは、実は他の人のほうがよく知っているということがよくあります。まずは、家族・友人・恩師等、周りの人の意見も聞いてみましょう。

それと同時に・・・

学校の就職課の活用

ふるさと福島就職情報センター
の活用(11ページ～)

自己PRの材料がなくても大丈夫

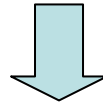
自己PRの材料がうまくみつからない

そんなときでも慌てることはありません。

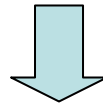
これから自己PRの材料となることを作ればいいのです！

これまで積極的に何かに取り組んでこなかった方は、これから積極的に何かに取り組めば良いのです。 気づきが早ければ、それが十分可能です。

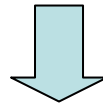
早めの自己分析



自分の長所・短所などを知る



自分の得意や長所などを活かし活動してみる。苦手なことにチャレンジしてみる。



・生活習慣の改善 ・資格取得 ・ボランティア活動
・体力づくり ・インターンシップに参加する。など

就職活動にはどんな情報が必要か



業界や仕事の中身に関する情報

日頃から関心がある業界から、なんとなく気になる業界まで広く浅く情報を集めましょう。業界の現状について自分なりに研究してみましょう。また、ご自分がやりたい仕事の中身(職種)についても、研究してみましょう。

企業に関する情報

業界の中で自分の興味をもてそうな企業を探しましょう。企業理念・社風・先輩社員の声・実際の仕事内容などいろいろな角度からの情報収集を心がけましょう。



採用に関する情報

採用に関する流れや個別企業説明会の開催日などを知る必要があります。就職活動を始めたら、こまめに就職サイト・企業のホームページなどをチェックしましょう。

福島の就活情報はどこから得られる？



各大学等の就職課（キャリアセンター）

採用実績のある企業から求人票が出される場合が多いので、まず最初にチェックしましょう！また、就職課主催の就職活動イベント（就活セミナーや企業説明会、業界説明会など）に積極的に参加して就職に役立つ情報を入手しましょう。



就職サイトの活用

企業の採用情報をはじめ業界研究セミナー・企業説明会などのイベント情報を幅広く集められます。

就職サイトによっては、首都圏中心の情報を掲載しているものや、大企業を中心のもの、地方の企業に強いもの、中小企業まで網羅しているものなど、それぞれのサイトごとに特徴があります。

「Fターンウェブサイト」では、福島県内企業の採用情報や、福島県内企業が参加する合同企業説明会等のイベント情報が入手できます。

Fターンウェブサイト: <http://www.f-turn.jp/>



会社説明会・合同企業説明会への参加

入社試験前に、企業の採用担当者から直接話が聞ける上に、企業の雰囲気もある程度知ることができます。入社試験の前に直に情報を得ることができる貴重な機会なので積極的に参加しましょう。

福島県の企業が参加する企業説明会に関する情報は、「Fターンウェブサイト」で確認することができます。

筆記試験の準備について

筆記試験の目的は足りりがほとんど

多くの企業では、大勢の受験者を募り、そこからある程度の人数に絞り込むために筆記試験を実施しているケースがほとんどです。

企業は、「勉強ができればいい」という基準だけでは、学生を採用しない傾向が強くなってきています。「このくらいのことのできなれば」という、基礎学力をみるような出題傾向にあります。とはいえ、大学生活の中で、「一般常識」等を勉強していない人も多いと思います。過去問題など出ているものもありますので、筆記試験対策も早めに準備しておきましょう。

主な筆記試験の内容

適性検査

SPI2: 「言語」と「非言語」の分野の能力検査と性格検査により適性を見る。
マークシート方式で回答する。
GAB: 長文読解と表を読み取る能力が試される。
CAB: 法則性や暗号の解読能力などが試される。

一般常識

国語、数学、理科、社会、英語といった基本教科の学力レベルを判断する試験

時事問題

国際情勢、経済、産業問題等、社会人として知っておくべき範囲の知識、教養を判断する試験。

ふるさと福島就職情報センターの活用

ふるさと福島就職情報センターは、福島県が設置する就職支援のための施設です。

福島県内での就職を考えている学生及び人材を必要とする福島県内企業等のマッチングを図り、就職を支援しています。

首都圏大学等に進学した方のFターン就職相談窓口として「東京窓口」、福島県内及び近県に進学した方の就職相談窓口として「福島窓口」を設置しています。

各窓口には福島県内への就職相談にきめ細やかに対応する相談員を配置して、学生の皆様の就職を支援しています。

東京窓口

東京都中央区銀座4丁目14 - 11

七十七ビル3階

TEL.03 - 3545 - 6140

利用時間

月～土曜日 午前10時～午後6時

(祝日、8/13～15、12/29～1/3は除く)

ご利用される場合は事前の予約が必要です。

まずはお電話ください。

福島窓口

福島市三河南町1 - 20

福島駅西口 コラッセふくしま2階

TEL.024 - 525 - 0047

利用時間

月～土曜日 午前10時～午後7時

(祝日、12/29～1/3は除く)

ご利用される場合は事前の予約が必要です。

まずはお電話ください。

ふるさと福島就職情報センターの支援内容

1 福島県内への就職活動について、親切丁寧にアドバイス。

福島県内への就職活動について、専門のキャリアコンサルタントが 親身になって相談に応じます。

就職活動に伴う不安や疑問など一人で抱え込むことなく気軽にご相談下さい。

2 応募先に狙いを定めたアドバイス・各個人に合わせアドバイス

自己分析のやり方、応募書類の書き方、面接対策など…

3 福島県内企業の情報を集め提供します。

福島県内企業訪問担当のスタッフが皆さんが必要とする企業の情報を収集して、提供し、皆さんの就職活動をサポートします。

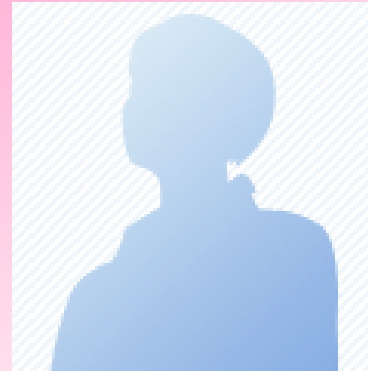
企業の魅力情報は『Fターンウェブサイト』に掲載しています。

Fターンウェブサイト: <http://www.f-turn.jp/>

ふるさと福島就職情報センター登録者 就職活動体験記

平成21年度登録者
大学4年生:男性
Aさん(21歳)
専攻:商学部

内々定企業4社



『就職活動の転換期に
ふるさと福島就職情報センターを利用』

就職活動体験記

2009年10月末

就職活動開始、目指す方向性(業界)は、ある程度自分の中では決まっていたが、大学内で実施されたUターン就職セミナーに参加後、ふるさと福島就職情報センター東京窓口(以下「情報センター」という。)に登録し担当者に相談する。

2009年11月中旬

すぐに情報センターに予約を入れ訪問。Uターン就職活動の全体的な流れや注意点などのアドバイスを受ける。

自分なりに考えた方向性はあったものの、本当に合っているのか検討することに…。

その他、業界の見方や合同企業説明会の参加ポイントなどの基本的なアドバイスを受け、積極的に参加。

2009年11月下旬～
2010年2月中旬

エントリーシートなど応募書類作成対策に追われる。

就職活動もいよいよ本番、自分なりに努力しているが、果たして内定をもらえるかどうかだんだんと不安になる。

就職活動体験記

2010年2月下旬

自分なりにがんばって何社もエントリーしてみるが、エントリーシートや自己PRで何が言いたいのか、どう表現していいのか、文章がうまく書けず悩み、情報センターに相談。

2010年3月上旬

- ・ 今までエントリーした業界は自分の適性に合っているのか？
- ・ 入社したい気持ちが先にあるって、適職と思い込んでいないか？
- ・ 他にも目を向ければ自分に合う仕事があるのではないか？

情報センターでアドバイスを受け、再度しっかり自己分析をやり直し、視野を広げることに。

2010年3月中旬

自己分析を進めるうちに、最初に考えていた業界とは異なる業界にも興味がわいてくる。あらたな業界や企業についても研究を開始。エントリーシートも何とか書けるようになる。情報センターからも福島県内の企業情報・採用情報を取得し、エントリー企業をプラス。

就職活動体験記

2010年3月下旬

徹底的に自己分析をし直した甲斐もあり、自己PR・志望動機など思い通りの文章が書けるようになる。
エントリーした企業から面接・筆記試験スケジュールなどの連絡が入り始める。
就職活動の正念場に突入！

2010年4月上旬～
下旬

情報センターで、応募先に合わせた面接対策を集中的に受ける。
どのような質問に答えるのであれ、全ては自己分析が基礎となることを再認識。
面接では、自己分析と業界(企業)研究結果を結びつけ、自分の考えや思いが伝わるように心がける。
1次面接、2次面接そして最終面接へ進むようになる。

2010年5月～6月

自分の将来のビジョンや自分の強み・弱みが明確になり就職活動も順調に進んだ。
5月～6月にかけて数社の内定を獲得したが、就職活動は継続。

2010年7月

最終的に自分に一番合う企業はどこか、やりたいことが出来そうな企業はどこか、真剣に考え、入社企業を最終決定。

これから学生生活を送られる方に、これだけは伝えたい

学生の間になんかことに一生懸命になったか。学業・アルバイト・ボランティア活動・サークル活動など、なんでもかまいません。

いざ、就職活動をする時、自分が一生懸命がんばったことがきちんと話せるよう、いろいろな経験をしてください。

もちろん、学生として一番大切な学業にはしっかり取り組みましょう。

企業では、皆さんが興味をもった物事に対して、どのような姿勢で取り組み、さらに、どのように成長してきたかを知りたいのです。

学生生活を何となく過ごすことなく、充実した学生生活を送るよう心がけましょう。そうした結果、きっと自分の将来のビジョンも見えてきて、就職活動にも役立ちます！